

## 社会医療法人 敬和会（大分岡病院）

敬和会（大分岡病院）を訪問して、ダイバーシティや長時間労働削減への取組等についてご説明をいただきました。



④ 岡理事長へ南保大分労働局長から要請書をお渡ししました。

- \* 職員数：1,124人（男性23%、女性77%）
- \* 事業内容：医療、福祉（救急医療、急性期治療、回復期医療、リハビリテーション、在宅復帰支援、長期介護、プライマリケア、在宅ケア、終末期ケア、精神ケア、健診センター等）
- 日時：平成28年10月19日（水）
- 訪問者：大分労働局長 南保 昌孝  
大分労働局 雇用環境・均等室  
雇用環境改善・均等推進監理官 吉野 栄次

- 面談者：社会医療法人敬和会 理事長 岡 敬二 氏  
〃 法人本部長 坂本 修一 氏  
〃 人事・総務部 次長 武石 智子 氏

■ 説明いただいた内容

● 敬和会におけるワーク・ライフ・バランスへの取組の系譜

1997年：病児保育センター「ひまわり」開設

1999年：育児・介護休業制度創設

2002年：継続雇用制度導入

2005年：配偶者出産休暇新設（男性育児参画）

2007年：事業所内保育所「ふたば保育園」開設

2011年：リフレッシュ休暇（3日間）新設

「くるみん認定（厚生労働大臣認定）」（子育てサポート企業）  
を取得

2016年：「敬和会ダイバーシティセンター」設立

以下の項目について中期目標を設定され、組織的な取組を推進されています。

- ① 女性の能力活躍の支援
- ② 障がいのある人々への支援
- ③ LGBTへの支援
- ④ 国際的人材育成への支援  
看護職（インドネシア・中国）、介護職（フィリピン）
- ⑤ 民族的マイノリティーへの支援
- ⑥ その他必要な事業への支援



● 女性の活躍推進、両立支援対策

- (1) 管理職への登用割合
  - ・ 女性 47%
- (2) 産前産後休暇・育児休業取得状況
  - ・ 休暇、休業とも取得率 100%
  - ・ 男性の育児休業取得実績あり (2010年に1名)
- (3) 育児短時間勤務利用状況
  - ・ 利用者割合 78%



● 長時間労働削減、休暇取得促進

- (1) 超過勤務の削減実績
  - 2014年6月から超過勤務削減の取組を開始
  - ・ 超過勤務時間数の削減  
2015年10月～2016年9月の期間において対前年同期比  
5.4%時間数を削減!
  - ・ 超過勤務手当の削減  
超過勤務時間の削減に伴い超過勤務手当額も対前年同期比  
3.3%手当額削減! 削減額は賞与として職員へ還元!
- (2) 超過勤務削減に向けた取組
  - ・ 会議時間を原則30分長くとも1時間以内とし、勤務時間内に実施
  - ・ 時間外勤務を行う場合に上司の許可を徹底
  - ・ 勤務時間終了2時間前を知らせる音楽を毎日15:30に病院内で放送
  - ・ 業務改善の実施
- (3) 年次有給休暇取得率
  - ・ 2014年 66.70% → 2015年 70.90%
  - 4.2ポイントアップ!

<労働局よりひとこと>

ダイバーシティに対する各種取組を中心に、超過勤務時間の削減など「働き方改革」に関する実績をお聞きすることができました。

ワーク・ライフ・バランスに対する長年かつ組織的な取組と長時間労働削減に対する岡理事長の確固たる姿勢により、良好な勤務環境が実現されている印象を受けました。こうした医療現場における着実な勤務環境の改善が、「人材の確保・定着」だけでなく医療の質の向上、患者満足度の向上、経営の安定化へと好循環に繋がることを期待しています。